

コロナ対策が緩和以降、海外からのお遍路さんも増えています。「日本の田舎の美しさは特別なものだ」と言う外国人も、多いそうです。

ごけい たより
互惠便り 第38号

創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心を…
NS 中谷石材株式会社
〒761-0121
高松市牟礼町牟礼3766-1
電話 087-845-5006



—海外からのお遍路さん— 50日歩き続けて最後の札所へ



大川工場の近所で咲いていた、色鮮やかな花桃、とマンサクの花？

4月5日(金)

八十八番札所の大窪寺で撮影しました。

お遍路姿の女性はニュージーランドから来られた Mrs. Stephanie Ferguson さんです。

通訳の人を含め3人でお遍路されていましたが髪はボソボソで、着ている服は汚れていました。

一番札所の霊山寺を2月17日に出発してから丁度50日をかけて巡られ、4月7日に出発地の霊山寺に戻られたそうです。八十八ヶ所を徒歩で踏破したお姿にお会いして、何か心を打たれるものが伝わってまいりました。

写真撮影

大川工場 奥野武



第64期経営方針発表会

3月23日(土) 久米山 神明殿にて

3月23日弊社の第64期経営方針発表会を行いました。

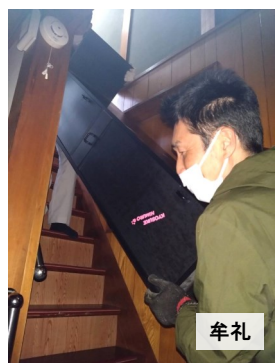
弊社の従業員のほとんどは(この地に暮らしており、その多くは香川に生まれて育ちました。皆さまの朋輩(ほうばい)である彼らの頑張る姿と、地元の一企業の奮闘を毎月お伝えしていますが、楽しく読んでいただけたなら、これに勝る喜びはありません。

私と、関連会社の各社長による業績状況などの報告は例年とおりでしたが、今年は4人いる若手リーダーたちにも発表をしてもらいました。社会の変遷につれて事業も変化していきます。それにつれて会社自身も成長していかなければなりません。

リーダーの一人は女性です。頼もしい限りです。弊社のような石の会社は男の職場というイメージが強いかも知れませんが、もちろん女性職員もいます。

我が社の〈大改革〉計画が終わる頃には、色々なことが今とは違っているでしょう。その変化の全てが、お客様と働く仲間にとって喜ばしい変化であることを確信しています。4月からの新年度も皆で頑張っています。どうぞ、中谷石材をよろしくお願ひ申し上げます。

中谷石材株式会社
代表取締役 中谷明生



屋内担当チームの初仕事！ お客様の“お困りごと”を解決しました

3月31日(日)。新聞の折込チラシを見た、初めてのお客様からお電話を頂きました。家具の移動と不用品処分をお願いしたいというご依頼です。これは屋内担当チームの初仕事にさせていただきます！ と牟礼リーダーに同行してもらい早速お見積りに伺いました。リーダーは今までの経験から、処分する物の重量や作業時間をパパッ！ と計算してお客様へ提示。その場でお客様に快諾して頂いて正式なご注文となりました。



初仕事のこの日、お客様から何度も「お世話になりました。ありがとうございました。ありがとうございました。」とお声かけして頂きましたが、お世話になったのもお礼を言うのも私の方だなあ…と、思いつつ帰社しました。

これから私たちは、こんなにお客様に喜んでいただける仕事を担当させていただきます。たくさん経験を積んでいき、お客様のお困り事を可能な限り解決する「お手伝い」のプロを目指して頑張りたいと思います。よろしくお願ひいたします！

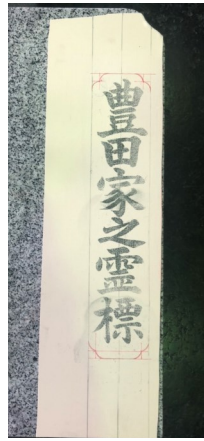
グリーンメモリー事業部 リーダー
豊永摩利子



家具や重い物の移動は男性スタッフが担当し、私も持てるものを手にして一緒に階段を昇り降りして運びました。

家具屋さん勤めていたこともある牟礼リーダーが、手際よく相方と声をかけ合って家具を運びました。その作業の合間に、私はお客様に互恵便りをお渡しして、今回のようなご依頼もお受けしていることを紙面でご紹介したいのと、作業風景の撮影をお願いしました。

また作業終了後には、この新事業の第一号のお客様なので一緒に記念撮影をお願いして、更に互恵便りに掲載させて下さい！ との追加のお願いにもご快諾を頂きました。ご協力、ありがとうございます！



庵治石で新墓を建立していただきました！

今回お墓を建立していただいたお客様は、丸亀市にお住まいの方です。

弊社管理霊園の墓地世話人様のご紹介で、今回の墓地と墓石のご契約となりました。ありがとうございます。

私共は、家族が一緒になって考えてお墓を建立していく過程を共有し、家族の想いが詰まったお墓を作るのが、この仕事の一番のやり甲斐であります。

建立を進めるにあたっては、ご主人様・奥様・息子様の3人と十分にお話しをさせて頂きました。私にとっても有意義だったのは、納得して決定に至るまでの間に、ご主人様の家族への想いを沢山お聞きすることができたことです。

今回は、お3人様のお陰で大変思い出深い仕事となりました。ありがとうございます。

「ご希望の石種は「庵治石細目特上」

お客様は、お墓の石種を、庵治石の中で最高級の細目特上にしたとの強いご希望をお持ちでした。最初の頃はご主人様と砕けた雰囲気でお話が出来なかったのですが、次第にお人柄が楽しみになりました。

作成までの期間には、墓石展示場を見て頂く他に、

ふれあい祭りのご案内も差し上げてお越しいただきました。そこでの取り組みを見ていただくことを通じて、当社をより信頼して頂けたかと思えます。家族3人で配送センター字彫り工場までお出で頂き、実際の彫刻過程をご覧いただけただけなことにも、満足されたようでした。

ご主人様の提案で、お墓に刻む文字は書道教室をしている奥様に書いていただきました。奥様には大変お忙しい中、沢山の清書を書いていただきましたが、どれもが文字彫刻スタッフも驚くほどの美しい文字でした。

息子様には、終始お世話になりました。ご両親のサポートと、打ち合せ日の確認や写真のやり取りをラインで頻繁に送ることができて、大変に助かりました。お父様に率直な助言をされる家族思いの方で、ご両親への感謝の気持ちが伝わってきました。私と同じく営業の仕事をされているので、当方のことも思いやって下さり、大変ありがたかったです。

建立日には弊社の対応を大変褒めていただきました。大変ありがたく思っております。

お褒め頂いた言葉が自信につながって：

今回の弊社全社員の一連の対応に対して、「こんなお客様想いの会社は見たことがない。中谷石材に出会ってよかった」とおっしゃって下さり本当に嬉しく思いました。

今後、石材業界には大変厳しい未来が待ち受けています。これからの弊社は会社の中で働いていた社員が外に出て、全社員がお客様と直接ふれあう組織に変わっていきます。そこに若干の不安がありました。お客様との対応に、いささかの不安と自信が持てずいた時に、当社の対応を褒めていただいた事は社員の自信に繋がりました。

お客様の言葉をお聞きして、これまでやってきたことを実直に進めていけばいいのだと確信できました。大切なことを教えて頂いた今回のご縁に、感謝したいと思えます。

牟礼英則



施工後、お客様宅のコンクリートヒビ割れ箇所を施工担当の三浦さんが気持ち良く補修してくれました。お客様にも、大変喜んでいただけて良かったです。

【塚終い (つかじまい)】

お手伝いさせていただきました

昔、牛は農家と共に田畑の仕事をしていたので亡くなる塚を作って祀られたそうです。お持ちの土地にあった牛塚を終いたいと、この度、そのお手伝いをさせていただきます。

石造りの小祠に積まれていた石を撤去する前に、先ずは石清水八幡宮の宮司である吉見社主に来ていただき、正式に魂抜きのお祓いをしていただきました。初めての事で少々不安も感じましたが、最後まで、神聖な気持ちで作業させていただきました。



屋内掃除を始めました！

これまで石材事業の中で、それぞれ専門分野の異なる業務に携わっていたメンバーが新しい事業を担当します。当社では全社員が日々の環境整備（整理・整頓・清掃）を徹底して学び実行して参りました。これからはその経験を活かし、皆様のお役に立ちたいとの思いから改めて立ち上げた事業です。

メンバーは、「お客様の笑顔が見られる様に頑張ります。」「経験を重ねて工夫しながら取り組みたいです。」と、新事業への意気込みも十分に、作業服も揃えてやる気満々です！

皆さま、お家の中のお困りごとは、お気軽に私たちに相談ください。

墓石の現場クリーニング

骨折してしまった現場クリーニング担当の中川です。新体制のもと、4月10日に庵治工場の平木さんと池さんの協力を得て、墓石の現場クリーニングを2件行いました。平木さんは経験者で池さんは初めてでしたが、何ととってもそこは手磨きのプロ！何一つ心配事なく臨みましたが、1件目で道具の不備等のトラブルに見舞われながらほとんど人力で作業を終了。2件目は万全の体制で臨み、問題なくクリーニングができました。現場クリーニングの醍醐味である、ピフォアアフターの達成感を感じて頂けて良かったです！



デビュー戦は五輪塔というなかなか難しい形状で、また機材の不調といったイレギュラーもありました。でも、2件目は電気や水道こそ近くにはありませんが、停車した軽トラックから数メートルの距離の現場で道具の移動も楽でした。何よりパツと見はしつかりと水圧力が着いていますが、元々の艶の状態も良いようでした。しかも、中川さんと平木さんという経験者が一緒なので、どんな現場でもこなせると安心感があります。

専門的な機材を使っているクリーニングですから、劇的に綺麗になった姿を見ると、やはりすぐにお客様に見ていただきたい気持ちになりました。

磨きを使うポリッシャーを使っている作業は私には毎日のことですが、全てが揃った工場と現場ではやはり勝手が違います。それこそイレギュラーなこともあり、現場で作業を完了する責任を感じます。

中川さんが快復したら、現場クリーニングの仕事はもしかしたら私に声はかからなくなるかもしれませんが、とてもいい経験になっています。まだ予定が入っていますが、残りの現場も事故等なく安全確実に作業を完成し、お客様に自信を持って引き渡せるよう頑張ります。

庵治工場 池寛幸



池さん、お尻アップの後ろ姿をごめんなさ〜い。



お風呂に入る時だけはギプスを外してOKに。左二の腕の筋肉が落ちて左右差が酷いです。



「草むしり日記」 No.61

桜が終わり、いよいよ今年も暑い季節のスタートです。お家やお庭周りの片づけをご希望の方は、どうぞ安心して私たちにお任せください。また、そろそろ虫が出てくる頃です。春のお彼岸前のお墓掃除や草むしりが済むと防虫予防の依頼が多くなってくる時季です。大切な樹木を守るためにも、早目のご予約をどうぞ。今月もよろしくお願いたします！



岡 等さん

どうです！この満面の笑顔！

「この仕事は、お客様が本当に喜んでくれるのを見られるのがいいよ。」

アルバイト 岡 等さん (75才)

今回は藤澤チームの中から、アルバイト歴5年の、岡等さんをご紹介します。

7年前のある日、近所のお宅にやって来た遠山文土さんが作業する様子を見ていたところ、遠山さんから一枚の名刺をもらいました。

その時、岡さんは68才。移動式クレーンの資格などを活かした現場で働いていました。その後、退職して2年ほどを休業期間として過ごし、70才になって健康のためにも何か仕事と考えた時に、あの一枚の名刺を思い出して、遠山さんに連絡したそうです。

岡さんがこの仕事に参加するきっかけは、遠山さんからもらった一枚の名刺だったんですね、素晴らしいです。笑

自ら学校へも通い技術を勉強して



「この仕事を始めたばかりの頃のことを伺うと、「最初の半年から1年くらいは、片づけばかりしていたよ」と。

でも同じアルバイト仲間には、素晴らしい剪定技術を持ってバリバリ仕事をこなしている広瀬さんや木村さんといった先輩がいました。そんな先輩たちが手掛けている剪定などに関心を持った岡さんは、仕事をしながら専門学校にも1年間通って、技術を学びました。

「この5年間は、ひたむきに現場での経験を積んで来た岡さんです。」

「どの仕事もやりがいはあるけど、やっていて楽しいのはやっぱり剪定かなあ」。

どの仕事もやりがいがあるよ

そう話してくれた顔には自信がみなぎっていてうれしそうでした。剪定もお手のものでとても頼もしく、藤澤

チームの中でもベテランとなった今では、班長のようにみんなを引っ張っていつてくれる存在として活躍中です。

おやつタイムは和気あいあいです

仲の良い藤澤チームには、おやつタイムがあると聞きました。お酒は飲まず、甘いものが好きな岡さんや仲間が持参するお菓子を食べながら、休憩時間にはみんなで和んでいるそうです。まるでカーリングチームで有名になった「もぐもぐタイム」みたいで楽しいですね。笑

「75才の体に夏場はえらいし、きついから、続けるのはあと半年ぐらいかなあ...。でも、この仕事はお客様が本当に喜んでくれるのを見られるのがいいよ。」と笑っていた岡さん。

まだまだ現役で「ご活躍願います！」

今は週に3回出勤されていますが、それを週2回に減らしてもいいですから、どうか岡さんの剪定を待っているお客様のためにも、まだまだ現役で「ご活躍願います！」



藤澤チーム

ご自分の可能な働き方でOKです

仲間を募集しています！

お気軽にお問合せ下さい



草むしり.com 高松

フリーダイヤル



0120-148-144

今月の社長のコラム

お陰様です。

私どもでは二期前より、「令和の大改革」と称して事業の変革を推進してきました（時代を見据えた改革そのものは、以前からとり組んでいます）。経営の重心を、石材と草むしりとの二つを指す〈大改革〉ですが、前期の石材事業の変貌は私の想像を超える厳しいものでした。

人間力こそが 一番求められること

しかし一方で、13年前に始めた“草むしり事業”の方は目標を上回る実績を上げることが出来ました。これは、既存の草むしりメンバの頑張りは勿論として、昨期の後半から、石材事業メンバーも積極的に草むしり事業に参加していったことで業績向上へとつながりました。

社会の高齢化に加え、温暖化が進むことにより、夏期の庭作業はときに危険で



「今年は、孫の一人がピカピカちゃんなんだよ…」と嬉しそうな中谷社長。めずらしいスーツ姿のこの日は、この後、組合の会議に出席予定だったようです。

すらあります。草むしり（及び庭仕事全般）は、専用の道具を持ち経験もあるプロフェッショナルに依頼する世の中に変わりつつあります。中谷石材は、この領域でも皆さまのお役に立てる会社へと〈改革〉を進めているところです。

今やAIの時代です。しかし、いつの時代も変わらざる必要とされることや、人間にしかできない仕事はあると私は考えます。人同士でコミュニケーションをとり、チームや組織で力を合わせるということは、人間にしか出来ません。

相手の悩みや身体の疲労を想像してみると、人を思いやることや、感謝の気持ちこそ「こころを込めて」相手に伝えるというところは、AIやロボットには絶対に真似ができません。変化を続けていくこれからの社会にあっても、唯一「失われぬ仕事」とは、このような人間の感情を大切にすること、それができる人ではないでしょうか。

そう考えますと、〈人間力〉こそが、これから一番求められる「仕事のスキル」かもしれないですね。〈人間力〉は、今までにやったことのない経験下で磨かれます。そこで仲間を思いやることを学び、向上させることができます。

お客様に感謝の気持ちを持つと同時に仲間を思いやり、共にお互いを支えながら成長していく、そういう心の繋がりが強い会社でありたいと私は思います。

私自身も変革に挑戦します。

社長 中谷明生

社内報 情報管理室（in本社）
「ニュースレター」 40号より

「第64期経営方針発表会」



NS 中谷石材株式会社

64期の経営方針書の表紙の写真は、『ストレチア』というお花です。

ストレチアは、和名でゴクラクチョウカ（極楽鳥花）と呼ばれています。このように呼ばれる理由は、ストレチアの鮮やかな花が、極楽鳥が羽ばたいているように見えるということから、この和名となったそうです。

花言葉は「輝かしい未来」、「情熱」です。ストレチアが美しい鳥に似ているため、未来に羽ばたき夢を掴むイメージからなつたそうです。

一昨年のリモートでの発表会、そして昨年春の発表会は育休中でしたが、実はこっそりと参加させていたっていました。でも、下期の発表会は次女の運動会で欠席させていただいたので、今回の会場だった神明殿は初めてでした。（数年前にここで忘年会をした時は、インフルエンザにかかってしまい、急遽欠席でした。）

私も何年ぶりでしょうか…司会をさせていただきますでしたが、グループ会社とはリモートなので、話し始めるタイミングが分からず…。リモート先に声は聞こえているのかという不安などもありつつ…、それでもどうにか終えることができました。



渡邊

伏見

会場の段取りから式次第、設営、発表代理など：色々心配しながらすべての準備をして当日を迎えた渡邊さん、お疲れ様でした！

情報管理室
伏見夏美



飛行機雲と 本社は屋

創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心を…
NS 中谷石材株式会社

本社 〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼3766-1
電話 087-845-5006 FAX 087-845-5062



草むしり.com 高松

フリーダイヤル 0120-148-144